



平成 31 年度 事業計画

創立以来、半世紀を超えた歴史ある楽団として、交響管弦楽による音楽芸術の普及向上を図り文化の発展に寄与するため、新たに契約を 2022 年度まで延長した小泉和裕音楽監督の下、公演内容の充実を図り、次のような演奏事業活動を行う。

1. 演奏事業

(1) オーケストラ演奏事業

① 定期演奏会 <27回>

内外の著名な指揮者・ソリストを招き、楽団のさらなる技術向上と音楽芸術の発展を目指して定期演奏会を開催する。

愛知県芸術劇場では、偉大な作曲家たちの残した代表傑作を取り上げる定期演奏会「マスターピース・シリーズ」を 11 回 22 公演開催する。

日本特殊陶業市民会館では、市民会館名曲シリーズとして、ロシアの名曲を取り揃えた「ロシアン・フェスティヴァル」を 5 公演開催する。

② 巡回演奏会 <7回>

地方自治体等の依頼により愛知県内外の市町村において開催する。

③ 移動音楽鑑賞教室 <34回>

小・中学生や高校生を対象に音楽鑑賞教室を開催する。

④特別演奏会 <19回>

豊田市コンサートホール・シリーズは、今年度から回数を1回増やして「カジュアル」「名曲」の2公演を開催する。また昨年度好評を得た愛知県芸術劇場での第九演奏会も2公演を開催する。

恒例のしらかわシリーズ、平日午後のオーケストラ、東京オペラシティでの東京特別公演、ならびに20年目の節目を迎える障がいのある方などを対象とした福祉コンサートなどを開催する。

⑤依頼演奏会 <28回>

企業・団体等からの依頼により開催する。

合計 115回

(2)アンサンブル(小編成の室内楽)事業等

①サロンコンサート

音楽プラザの施設を利用した「サロンコンサート」を年12回開催する。

②まちかどコンサート

市民が集まる場所で、より名フィルが親しまれるよう開催している「まちかどコンサート」を、名古屋市主催のイベントなどと連携して実施する。

③依頼によるアンサンブル演奏

企業や団体等からの依頼によるアンサンブルの演奏活動を実施する。

④公開リハーサル

市民との交流を深め名フィルへの認知度を高めるため「公開リハーサル」を年12回開催する。

⑤楽団員講師派遣事業

小・中学校に楽員を数名講師として派遣し、演奏とともに音楽の魅力などを伝える。

⑥ロビー・コンサート

定期演奏会の開演前に、愛知県芸術劇場コンサートホールのホワイエにおいて開催する。

2. 音の向上基金事業

オーケストラ演奏事業の充実を図るため、「音の向上基金」を活用して指揮者 6 名、ソリスト 4 名の招聘を行う。また、故阿部孝子様（元中日新聞記者）からのご寄付（20,000 千円）の一部を楽団で必要とする大型楽器購入費用に充てる。

①指揮者の招聘

初招聘のシルヴァン・カンブルランや、10 季ぶりの再演となるハインツ・ホリガーに加え、前常任指揮者のマーティン・ブラビンズ他を招聘する。

②ソリストの招聘

世界で活躍中のソリストを招聘し共演することで音楽的刺激を共有し、そこで得られる感性によりさらに一歩踏み込んだ音楽作りを目指す。本年度はピアニストのフレディ・ケンプ、ソプラノのサラ・ウェゲナー他を招聘する。

③楽器の購入

コントラバスを 1 台、ティンパニを 1 セット購入する。

(参考)音の向上基金の状況

29 年度末 残 高	30 年度中の 支 出 見 込	30 年度中の 収 入 見 込	30 年度末 残 高 見 込
168,530	9,200	0	159,330

(単位:千円)

3. エール基金事業

楽員の演奏技術の向上を図るため、楽器の購入資金及びリサイタル活動の必要資金を貸し付ける。

4. 名フィル魅力向上事業

(1)吹奏楽クリニック

吹奏楽に取り組む児童・生徒への演奏指導を実施

(2)ドリームコンサート

首都圏での認知度向上を図るための特別演奏会を開催

(3)ピクニックコンサート

市内の観光施設を活用した野外コンサートを開催

(4)プレミアムコンサート

歴史的施設を活用したアンサンブルコンサートを開催